

放送大学高知学習センター主催

# 看護師のための災害看護研修会

平成31年 2月16日〔土〕 9:30~13:00

会場：放送大学高知学習センター 講義室（大）

※駐車場は有料になりますのでなるべくお越しの際は公共交通機関をご利用下さい。



放送大学高知学習センターでは、人材育成プロジェクトを平成25年度より高知県看護協会と連携して毎年実施し、多くの看護職員の方に参加して頂いております。

本年度は、高知県看護協会・高知県立大学との共催により、来るべき南海トラフ地震に備えた“災害看護”をテーマに全ての看護職員を対象とした研修会を開催します。

講師は、高知県立大学で長年災害看護に関する研究を行ってこられた竹崎久美子教授、高知大学で様々な場面で活用できる「方言の手引き」について研究されている岩城裕之准教授です。

一般の方も参加頂けます。現職の看護師さんはもとよりご興味のある方はぜひご参加下さい。

第1部 9:30~10:00

放送大学・高知県立大学入学説明会

第2部 10:00~11:20

## ◎ 経験から紡ぎだされる『災害看護学』



講師：竹崎久美子氏（高知県立大学看護学部教授）

【プロフィール】高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了。

北里大学看護学部助手、兵庫県立大学講師を経て現職

【講演概要】

『災害看護』といえば、かつては日赤看護班に、また最近でも救命救急・トリアージに代表される高度専門領域のひとつと考えられがちです。しかし、近年各地で大型災害が頻発する中、災害発生後の人々の暮らしの変化や健康課題も様々に明らかとなってきました。同じ後悔を繰り返さないためにも、そこから看護学が何を学ぶべきか。

今、日本で発展しつつある『災害看護学』は一つ一つの災害の貴重な経験を「記述」し、経験から「再構築する」ことを行っていると思います。記述的研究方法と、そこから見えてくる『災害看護学』について考えてみたいと思います。



第3部 11:30~12:50

## ◎ 大規模災害時の『方言問題』



講師：岩城裕之氏（高知大学教育学部准教授）

【プロフィール】広島大学大学院文学研究科博士後期課程修了。

富山商船高専講師、呉高専准教授等を経て現職

【講演概要】

東日本大震災では、被災地から遠く離れた地域から多くの医療従事者が支援に入ることになりました。この時、共通語と大きく特徴を異にする東北方言が、遠隔地から支援に入った医療従事者に通じにくいという事例がみられました。日常的にも、出身地から遠く離れた地域に就職したり、遠隔地からの患者と出会ったりしたとき、医療従事者が患者の話す方言を理解することが難しいというケースは知られています。

今回は、東日本大震災の時起こった例を紹介すると共に、これから起こるとされる南海トラフ地震に向け、方言研究者が取り組んでいる「方言の手引き」を紹介します。また、災害時や医療現場での方言の効用についても考えてみたいと思います。



定員：60名（先着順） 受講料：無料 申込締切：平成31年2月8日（金）

放送大学高知学習センターは今年で開設25周年を迎えます！

お申し込み・  
お問い合わせは



放送大学 高知学習センター

月曜・祝日  
は閉所

〒780-8072 高知市曙町2-5-1(高知大学内) tel.088-843-4864 fax.088-843-4813 E-mail.kochi39@ouj.ac.jp

主催/放送大学高知学習センター 共催/公益社団法人高知県看護協会・高知県立大学法人高知県立大学